



澄みきった広い空、爽やかな風、草陰から聞こえる虫の声にやっと秋を感じられるようになってきました。先月は猛暑や大雨など天候が不安定でしたが、どんな日でも子どもたちは、元気に大好きなプール・水遊びや好きな遊びを十分に楽しむことができました。

今月は子どもたちが大好きな散歩や虫探しや木の実拾いなど、自然に触れてのびのびと遊ぶ中で、一人ひとりが経験する感動や発見に寄り添い共感しながら、感性豊かな心を育てていきたいと思っています。



子どもたちは今、かけっこやリズム体操や運動遊びを十分に楽しみ、生き生きと活動しています。友だちと一緒に思いきり体を動かして遊びこむ過程で、勝った喜びや負けた悔しさ、仲間意識や葛藤、その子なりの目標や挑戦、やり遂げる充実感など、様々な感情を経験しています。そんな子どもたちは、運動能力の育ちだけでなく心も大きく成長し、ずいぶん逞しくなりました。また、小さいクラスの子どもたちも影響を受けているようで、競技を見ながら曲を口ずさんだり体を揺らしたりして喜び、可愛い笑顔にあふれています。

日頃の遊びや取り組みの中での育ちを大切に見守りながら、子どもたちの「やるぞー！」という意欲あふれる姿を精一杯応援していきたいと思っています。

引き続き熱中症対策や、朝夕と日中の気温差からくる風邪など、子どもたちの体調管理には十分留意して、健康に過ごせるようにしていきたいと思っています。



1日(木) いわっこ・・・健康安全についての約束

1日(木) 内科検診(以上児)・矢嶋小児科による健診
13:30～

1日(木) 発育測定 }
2日(金) 発育測定 } ・ ・ 身長、体重、胸囲の測定

14日(水) 内科健診(未満児)・矢嶋小児科による健診
10:30～

15日(木) 不審者訓練・・・園庭に不審者が侵入の想定

20日(火) 誕生会・・・10月生まれの友だちをお祝い

25日(日) オータムフェスティバル

・・・思いっきり運動遊びを楽しもう！

親子避難訓練・・・調理室より出火の想定

(りす・うさぎ・きりん・ぞう組の参加となります)

30日(金) 遠足・・・秋を見つけてこよう！

☆体操教室☆ 7日、14日、21日、28日(水)

☆英語教室☆ 5日、26日(月)

11月の予定

2日(月) いわっこ

4日(水) 体操教室

5日(木) 歯科健診 9:30～

5日(木) 6日(金) 発育測定

9日(月) 英語教室

10日(火) 避難訓練

11日(水) 体操教室

12日(木) 連れ去り防止訓練

17日(火) 誕生会

18日(水) 体操教室

25日(水) 体操教室

30日(月) 英語教室

* ぞう組個別懇談 *

9日(月)～13日(金)

今月のいわっこ

- ・目の働きと大切さ
- ・園外保育（遠足や散歩）の安全指導
- ・体の仕組みについて

具体的な例をあげて子どもたちに分かりやすく説明し、健康や安全について意識できるようにしていきます。



肌寒くなると、つい子どもに厚着をさせたくなりますが、子どもは意外と寒さに強いもの。薄着でいると冷たい風が刺激となって自律神経などが活発に働き体温調節機能も高まります。冬に向けて、抵抗力をつけ丈夫な皮膚を作るためにも今から薄着を心がけていきましょう。習慣づけには、長袖に代える時期を大人より少し遅らせたり、重ね着を大人より1枚少なくしたりが目安です。薄着で過ごすコツは、寒いと感じたら薄手の上着を着脱して調節、肌着を着て保温や、お腹と背中が出ないようにするなど工夫をしましょう。



食欲の秋！おいしく食べよう！！

朝夕と涼しくなり食欲が回復してきた子ども達。「お腹空いた～」「今日の給食何かなあ」と調理室を覗き込んだり、大きいクラスでは、献立表を見たり、食への関心も深まっています。

毎日を元気に過ごすためには、三食しっかり食べて十分なカロリーを摂ることが大切です。また規則正しい食習慣のある子は賢く強く元気な子に成長するそうですよ。お家でも少しだけ時間に余裕を持ち、食事の働きかけを工夫してみてください。無理やりに食べさせる必要はありません。楽しい雰囲気の中で「おいしいね！」と笑顔で食べられることが大事です。子どもが自ら「食べたい」と思い、食べられる嬉しさを感じることが活力となります。

ところで“いわキッチン”にある給食献立写真や食品産地表、展示食やレシピは見ていただけていますか？お子さんと一緒に見ることで、食に興味を持たせることができます。どんな物を食べているのかな？量は？調理方法は？など、ぜひご覧くださいね。

目を大切に！ 10月10日は目の愛護デー

生まれたときは明暗を感じる程度の子どもの視力が、大人並みの1.0くらいになるのは6歳頃と言われ乳幼児期にいちばん発達するそうです。子どもは視力に異常が生じても自分で症状を訴えることは難しいこと。気になる様子があれば眼科を受診しましょう。

＊目を細めて見る ＊顔を傾けて見る ＊いつも涙ぐんでいる

＊まぶたが下がっている ＊片目で見ると ＊まぶしがる

この機会に子どもの「目」の健康について見直してみてください！

